土地改良事業計画書

県営朝日池北部地区

区画整理(経営体育成基盤整備「農地中間管理機構関連型」)事業

目　　次

第１章　目的 ---------- 1

第２章　地域及び地積 ---------- 2
　第１節　地　域 ---------- 2
　第２節　地　積 ---------- 2

第３章　現況 ---------- 3
　第１節　気象及び海象 ---------- 3
　　１　一般気象 ---------- 3
　　２　特殊気象 ---------- 4
　　３　海象 ---------- 4
　第２節　土地状況 ---------- 5
　　１　地形、土壌及び侵食の程度 ---------- 5
　　２　土地分類 ---------- 6
　　３　土地利用の状況 ---------- 6
　　４　土地所有の状況 ---------- 6
　第３節　水利状況 ---------- 7
　　１　用水状況 ---------- 7
　　２　排水状況 ---------- 9
　　３　河川状況 ---------- 11
　第４節　道路概況 ---------- 12
　　１　道路概況 ---------- 12
　　２　主要道路一覧表 ---------- 14
　第５節　地域農業の概況 ---------- 15
　　１　産業別就業人口 ---------- 15
　　２　経営耕地広狭別経営体数及び耕地の分散状況並びに農業経営体数 ---------- 15
　　３　動力農機具及び主要家畜頭数 ---------- 16
　　４　主要作物作付状況 ---------- 16
　　５　農業の動向 ---------- 17
　第６節　地域環境の概況 ---------- 17

第４章　一般計画 ---------- 18
第１節　事業計画の要旨 ---------- 18
１　要旨 ---------- 18
２　事業別面積 ---------- 18
第２節　営農計画及び土地利用計画 ---------- 18
１　営農計画の概要 ---------- 18
２　土地利用区分 ---------- 19
３　作付方式 ---------- 19
４　生産計画 ---------- 20
５　労働改善計画 ---------- 21
６　級地別土地利用区分 ---------- 21
７　土地配分計画 ---------- 21
第３節　用水計画 ---------- 22
１　計画基準年 ---------- 22
２　計画かんがい方式 ---------- 22
３　計画用水系統 ---------- 22
４　計画用水量 ---------- 24
５　水源計画 ---------- 24
第４節　排水計画 ---------- 26
１　計画基準雨量 ---------- 26
２　計画排水方式 ---------- 26
３　計画排水系統 ---------- 26
４　計画排水量 ---------- 28
５　排水対策 ---------- 28
６　湛水検討 ---------- 29
第５節　道路計画 ---------- 30
１　道路及び索道 ---------- 30
２　路線配置図 ---------- 30
第６節　農用地造成計画 ---------- 32
第７節　洪水調節計画 ---------- 32
第８節　干拓計画 ---------- 32
第９節　農用地整備計画 ---------- 32
１　区画整理 ---------- 32
２　暗渠排水 ---------- 33
３　客土 ---------- 33
４　農地保全 ---------- 33
第10節　老朽ため池改修計画 ---------- 33

第５章　主要工事計画 ---------- 34
第１節　用水施設 ---------- 34
１　貯水池 ---------- 34
２　頭首工 ---------- 34
３　揚水機 ---------- 34
４　用水路 ---------- 34
５　その他かんがい施設 ---------- 34
第２節　排水施設 ---------- 35
１　排水水門 ---------- 35
２　排水機 ---------- 35
３　排水路 ---------- 35
４　その他排水施設 ---------- 35
第３節　道路及び索道 ---------- 36
１　道路 ---------- 36
２　索道 ---------- 36
第４節　農用地造成 ---------- 36
第５節　洪水調節施設 ---------- 36
第６節　干拓施設 ---------- 36
第７節　農用地整備施設 ---------- 37
１　区画整理 ---------- 37
２　暗渠排水 ---------- 38
３　客土 ---------- 38
４　除礫 ---------- 38
５　農地保全 ---------- 38
第８節　老朽ため池改修施設 ---------- 38

第６章　附帯工事計画 ---------- 39

第７章　工事の着手及び完了の予定時期 ---------- 39

第８章　環境との調和への配慮 ---------- 39

第９章　換地計画の概要 ---------- 40
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 ---------- 40
第２節　換地区の設定 ---------- 40
１　換地区の名称、所在、面積 ---------- 40
２　換地区を設定する理由 ---------- 40
第３節　換地計画樹立の基本方針 ---------- 40
１　従前の土地の面積の基準 ---------- 40
２　用途別予定地積 ---------- 41
３　農用地集団化の方針 ---------- 41
４　非農用地の換地方法 ---------- 42
第４節　土地の評価及び清算の方法 ---------- 42
１　評価の方法 ---------- 42
２　清算の方法 ---------- 42
第５節　換地計画樹立の年度計画 ---------- 42
第６節　換地処分の時期に関する特則 ---------- 42

第10章　事業費の総額及び内訳 ---------- 43

第11章　効用 ---------- 44

第12章　関連する事業 ---------- 45

第13章　現況・計画図面 ---------- 45
計画一般図 ---------- 46

第１章　目的

本地区は、新潟県上越市の北部に位置し、高田平野北部の池沼群と東頸城丘陵の西縁の間に広がる農地を受益区域とする水田地帯であり、水稲を中心とした営農が展開されている。

これまでに地区内では中心経営体への農地集積が進められてきたが、現況の生産基盤が12ａ程度と小区画であるうえ、農道が狭く、大型機械による効率的な営農の妨げとなっている。また、排水路は過去に整備した用排兼用水路高を利用しているため渠底が高く効率的に排水できず、一部ほ場は排水不良田となっている。暗渠排水の老朽化により畑作物の取組拡大が難しい。

このため、農地の大区画化や排水路の整備により生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積・集約化を促進し、農業の効率化によるコスト低減と収益性の高い園芸作物の導入・拡大による所得向上を図り、安定した農業経営と農業の持続的発展を目指す。

第２章　地域及び地積

第１節　地域

（第１表）

事　業　名	地　域
区画整理	新潟県上越市 大潟区内雁子、大潟区内雁子新田、吉川区長沢、吉川区神田町、吉川区梶

第２節　地積

（令和７年８月現在）（第２表）

事　業　名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
区画整理	上越市	141.4	0.4	0.1	－	16.4	158.3	
合　計		141.4	0.4	0.1	－	16.4	158.3	

第３章　現　況

第１節　気象及び海象

１．一般気象

（第３表ー１）

観測所名	高田	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	1953年 ～ 2019年	5月 ～ 8月	9月 ～ 4月		
平　均　気　温　（℃）		22.0	9.2	13.4	年平均値　（1953年～2019年：気象庁HPデータ）
降 水 量	平　均（mm）	638.5	2,243.0	2,881.5	月平均　240.1mm （1953年～2019年：水文統計資料［第14版］）
	基準年（mm）	413.0	2,275.5	2,688.5	月平均　224.0mm 計画基準年 1973年　（気象庁HPデータ）
降水日数	平　均（日）	50.7	157.9	208.6	月平均　17.4日 （1953年～2019年：水文統計資料［第14版］）
	基準年(日)	46.0	166.0	212.0	月平均　17.7日 計画基準年 1973年　（気象庁HPデータ）
根　雪　期　間		1月1日　～　3月13日　72日間			高田　1991年～2020年の平年値　（気象庁HPデータ）
無　霜　期　間		4月15日　～　11月18日　218日間			高田　1991年～2007年の平年値　（気象庁HPデータ）
最　多　風　向		南	最大風速 （風　向）	23.1 m/s （　南　）	最多風向発生時期　1～5月、7～12月 高田　1991年～2020年の平年値　（気象庁HPデータ） 最大風速発生年月日 1959年4月5日 （1953年～2019年：気象庁HPデータ）

２．　特殊気象

（第３表ー２）

観測所名 高田	第　１　位			第　２　位			第　３　位			第　４　位			第　５　位			備　考
観測期間 1953年 ～ 2024年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	176.0	1985.7.8	1/30	173.5	2017.7.1	1/30	164.5	1985.11.8	1/20	160.3	1959.7.11	1/15	147.5	1999.9.15	1/10	気象庁HPﾃﾞｰﾀ 1953年 ～2024年
最大時間雨量 (mm)	91.0	2006.10.29	—	64.1	1962.9.15	—	62.0	2022.8.13	—	60.5	1998.7.30	—	60.0	2016.7.27	—	気象庁HPﾃﾞｰﾀ 1953年 ～2024年
最大４時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量 (mm)	897.5	1956.11.25 ～ 1956.12.28	1/100	824.0	2010.12.20 ～ 2011.2.1	1/50	816.5	1968.1.13 ～ 1968.2.17	1/50	718.5	2024.12.3 ～ 2024.12.31	1/40	682.5	1984.12.11 ～ 1985.1.8	1/30	気象庁HPﾃﾞｰﾀ 1953年 ～2024年
最大連続干天日数 (日)	46	1994.7.3 ～ 1994.8.17	1/500	37	2023.7.20 ～ 2023.8.25	1/200	29	2010.7.16 ～ 2010.8.13	1/20	29	2018.7.8 ～ 2018.8.5	1/20	28	2000.7.26 ～ 2000.8.22	1/15	気象庁HPﾃﾞｰﾀ 1953年 ～2024年

３．　海象

該当なし

第２節　土地状況

１．　地形、土壌及び侵食の程度

本地区は、新潟県上越市の北部に位置し、標高2.4m～4.6mの沖積平野である。
勾配は1/400～1/10,000となだらかな地形を成しており、平均地形勾配は1/850となっている。

（１）地形

（第４表ー１ー１）

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
区画整理	面積（ha）	50.9	90.5	―	―	―	141.4	0.4	―	―	―	―	0.4	4.6	2.4	
	比率（%）	36.0	64.0	―	―	―	100	100	―	―	―	―	100			
合計	面積（ha）	50.9	90.5	―	―	―	141.4	0.4	―	―	―	―	0.4	―	―	
	比率（%）	36.0	64.0	―	―	―	100	100	―	―	―	―	100			

（２）土壌

（第４表ー１ー２）

項目 ＼ 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表											面積（ha）		備考
	土壌断面									堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	沈殿物酸化	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	土性 下層土 四層	泥炭層黒泥層及びグライ層			区画整理	計	
D30強グライ土壌 強粘土還元型	灰	1層あり 2層あり 3層なし	無	―	HC	HC	HC	―	全層（グライ層）	沖積	―	13.3	13.3	
D31強グライ土壌 強粘土斑鉄型	灰,青灰,黄褐	1層あり 2層含む 3層あり	無	―	LiC～HC	HC	HC	―	全層（グライ層）	沖積	―	128.1	128.1	
計	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	141.4	141.4	

（３）侵食の程度

該当なし

２．　土地分類

該当なし

３．　土地利用の状況

（令和７年８月現在）（第４表ー３）

事業名	土地利用別／市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理	上越市	141.4	0.4	―	―	―	―	―	―	―	0.1	16.4	158.3	
合計		141.4	0.4	―	―	―	―	―	―	―	0.1	16.4	158.3	

４．　土地所有の状況

（令和７年８月現在）（第４表ー４）

事業名	所有別／区分	個人有	土地改良区有	市町村有	県有	国有	計	備考
区画整理	面積（ha）	141.9	0.04	16.2	0.2	―	158.3	
	受益者数（人）	205	2	2	2	―	211	
	筆数（筆）	1,583	12	129	44	―	1,768	
	権利関係	所有権 耕作権	所有権 管理権	所有権 管理権	所有権 管理権	―		
	備考 (関係戸数)	57	―	―	―	―	57	

第３節　水利状況

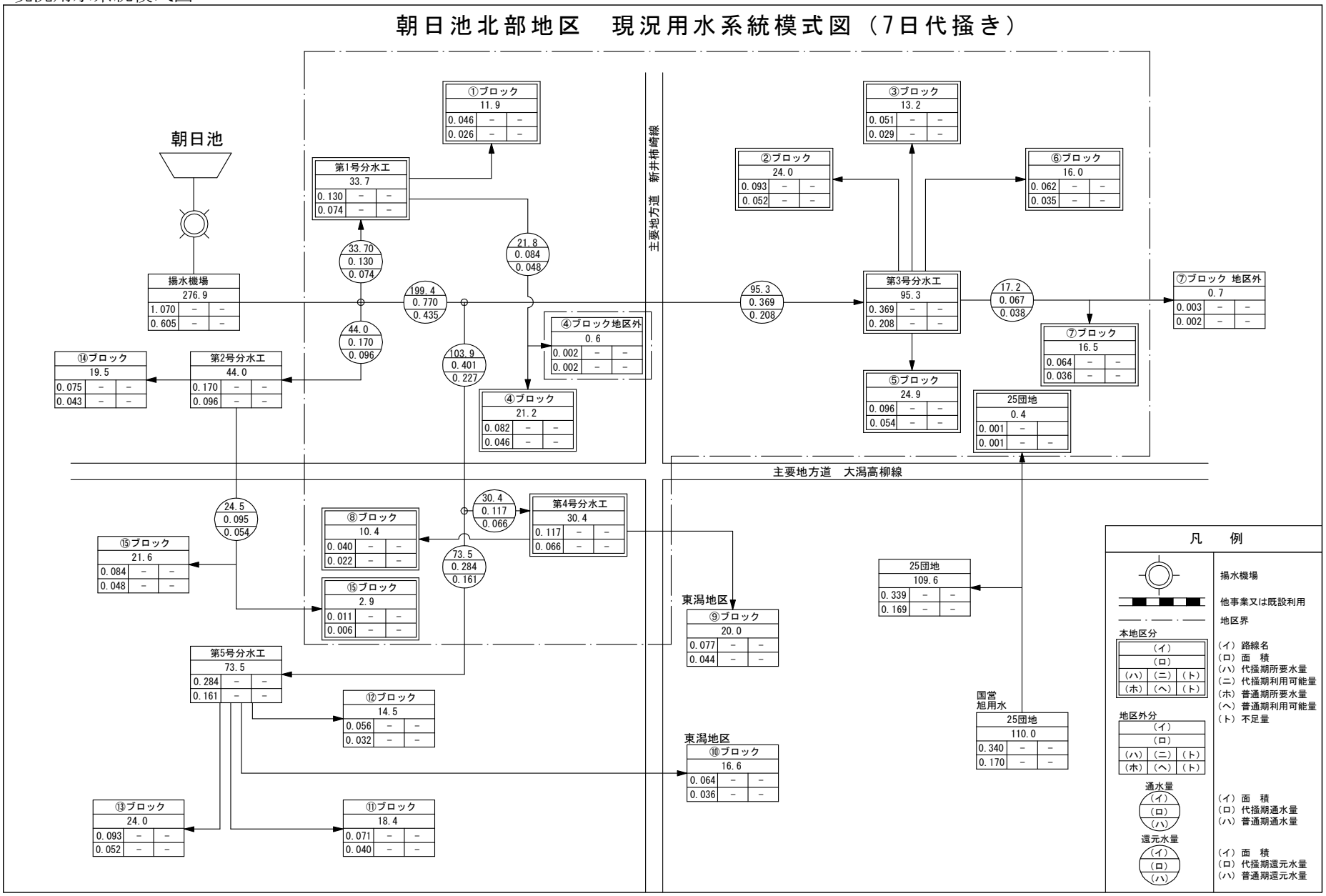
１．　用水状況

本地区の用水は、農業用ため池の朝日池を水源とした朝日池揚水機場のほか、国営幹線排水路より反復水を利用した南部１号揚水機場より、加圧パイプラインにてかんがいしている。

（１）用水系統

現況用水系統模式図のとおり。

現況用水系統模式図


朝日池北部地区　現況用水系統模式図（7日代掻き）
朝日池
揚水機場
276.9
1.070 － －
0.605 － －
第1号分水工
33.7
0.130 － －
0.074 － －
①ブロック
11.9
0.046 － －
0.026 － －
33.70
0.130
0.074
21.8
0.084
0.048
199.4
0.770
0.435
44.0
0.170
0.096
103.9
0.401
0.227
④ブロック地区外
0.6
0.002 － －
0.002 － －
④ブロック
21.2
0.082 － －
0.046 － －
⑭ブロック
19.5
0.075 － －
0.043 － －
第2号分水工
44.0
0.170 － －
0.096 － －
主要地方道　新井柿崎線
②ブロック
24.0
0.093 － －
0.052 － －
③ブロック
13.2
0.051 － －
0.029 － －
⑥ブロック
16.0
0.062 － －
0.035 － －
95.3
0.369
0.208
第3号分水工
95.3
0.369 － －
0.208 － －
17.2
0.067
0.038
⑦ブロック　地区外
0.7
0.003 － －
0.002 － －
⑦ブロック
16.5
0.064 － －
0.036 － －
⑤ブロック
24.9
0.096 － －
0.054 － －
25団地
0.4
0.001 －
0.001 － －
主要地方道　大潟高柳線
24.5
0.095
0.054
⑧ブロック
10.4
0.040 － －
0.022 － －
30.4
0.117
0.066
第4号分水工
30.4
0.117 － －
0.066 － －
⑮ブロック
21.6
0.084 － －
0.048 － －
73.5
0.284
0.161
⑮ブロック
2.9
0.011 － －
0.006 － －
25団地
109.6
0.339 － －
0.169 － －
東潟地区
⑨ブロック
20.0
0.077 － －
0.044 － －
第5号分水工
73.5
0.284 － －
0.161 － －
⑫ブロック
14.5
0.056 － －
0.032 － －
国営
旭用水
25団地
110.0
0.340 － －
0.170 － －
東潟地区
⑩ブロック
16.6
0.064 － －
0.036 － －
⑬ブロック
24.0
0.093 － －
0.052 － －
⑪ブロック
18.4
0.071 － －
0.040 － －
凡　例
揚水機場
他事業又は既設利用
地区界
本地区分
（イ）
（ロ）
（ハ）（ニ）（ト）
（ホ）（ヘ）（ト）
（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量
地区外分
（イ）
（ロ）
（ハ）（ニ）（ト）
（ホ）（ヘ）（ト）
通水量
（イ）
（ロ）
（ハ）
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量
還元水量
（イ）
（ロ）
（ハ）
（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

（２）用水施設

（ア）取水方法一覧表

（第５表ー１）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 500ha以上 箇所	かんがい面積 500ha以上 ha	かんがい面積 500～100ha 箇所	かんがい面積 500～100ha ha	かんがい面積 100ha未満 箇所	かんがい面積 100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	許可水利権 箇所	許可水利権 m^3/s	慣行水利権等 箇所	慣行水利権等 m^3/s	延べ取水量 m^3/s	備考
区画整理	揚水機	―	―	1	276.9	―	―	1	276.9	―	―	1	1.070 0.605	1.070	朝日池揚水機場
区画整理	揚水機	―	―	1	110.0	―	―	1	110.0	1	0.340 0.170	―	―	0.340	南部１号揚水機場
合計		―	―	2	386.9	―	―	2	386.9	1	0.340 0.170	1	1.070 0.605	1.410	

※かんがい面積は地区外含む、上段：代掻期、下段：普通期

（イ）改修を要する施設一覧表

該当なし

（３）用水に関する被害状況

該当なし

（４）ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

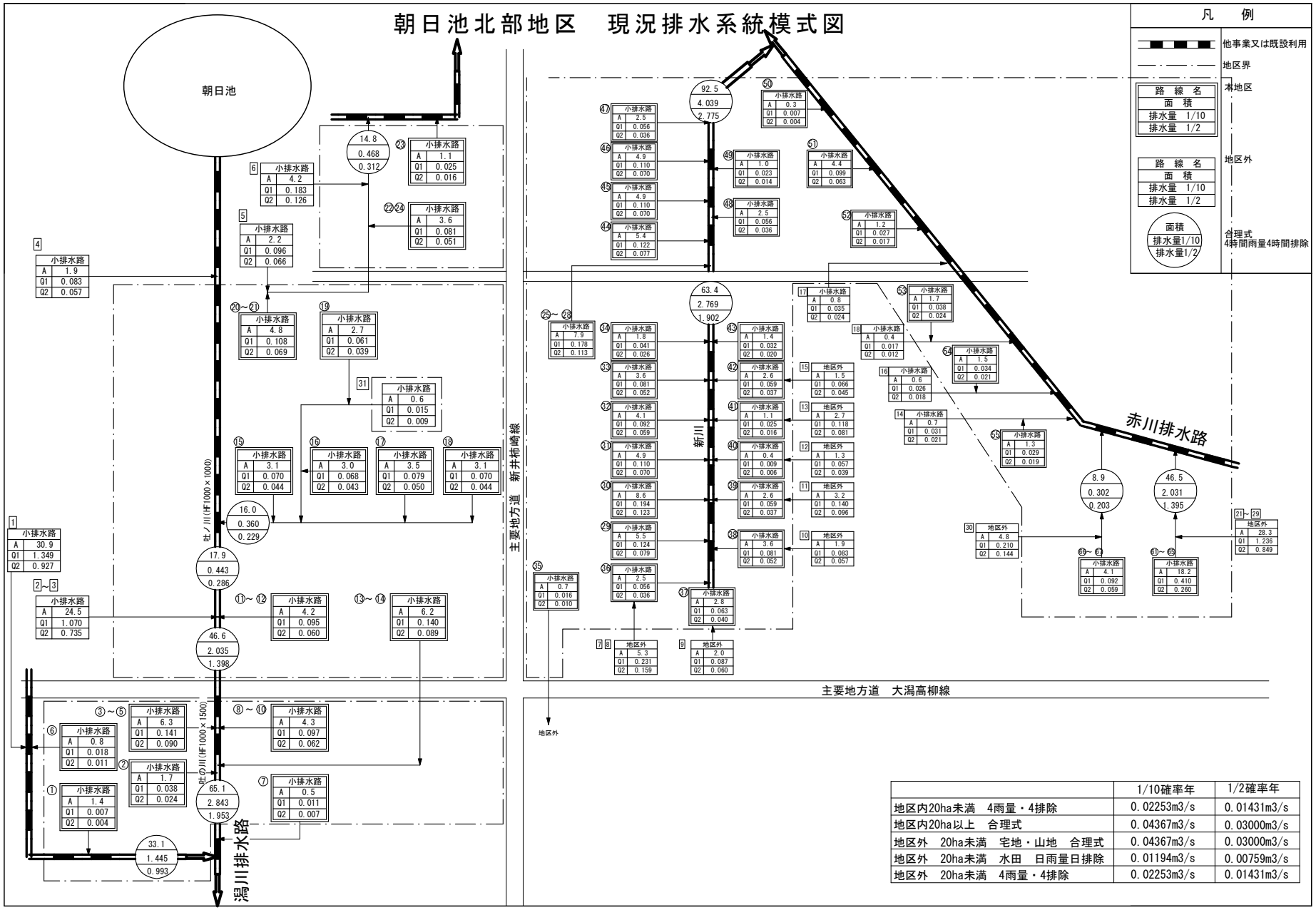
２．　排水状況

本地区の排水は、地区内外の小排水路及び支線排水路を経て潟川排水路、赤川排水路へ自然排水される。

（１）排水系統

現況排水系統模式図のとおり。

現況排水系統模式図



	1/10確率年	1/2確率年
地区内20ha未満　4雨量・4排除	0.02253m3/s	0.01431m3/s
地区内20ha以上　合理式	0.04367m3/s	0.03000m3/s
地区外　20ha未満　宅地・山地　合理式	0.04367m3/s	0.03000m3/s
地区外　20ha未満　水田　日雨量日排除	0.01194m3/s	0.00759m3/s
地区外　20ha未満　4雨量・4排除	0.02253m3/s	0.01431m3/s

（２）排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第５表ー４）

事業名	項目／施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	500～100ha 箇所	500～100ha ha	100ha未満 箇所	100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)		現況排水能力 (m^3/s)		備考
区画整理	自然	支線排水路	－	－	－	－	2	98.2	2	98.2	－	－	－	－	潟川排水路
		排水路	－	－	－	－	1	0.5	1	0.5	－	－	－	－	潟川排水路
		支線排水路	－	－	－	－	1	92.5	1	92.5	－	－	－	－	赤川排水路
		排水路	－	－	－	－	9	68.3	9	68.3	－	－	－	－	赤川排水路
		排水路	－	－	－	－	3	16.6	3	16.6	－	－	－	－	既設排水路
合計			－	－	－	－	16	276.1	16	276.1	－	－	－	－	

※排水面積は地区外含む

（イ）改修を要する施設一覧表

該当なし

（３）排水に関する被害状況

該当なし

３．　河川状況

該当なし

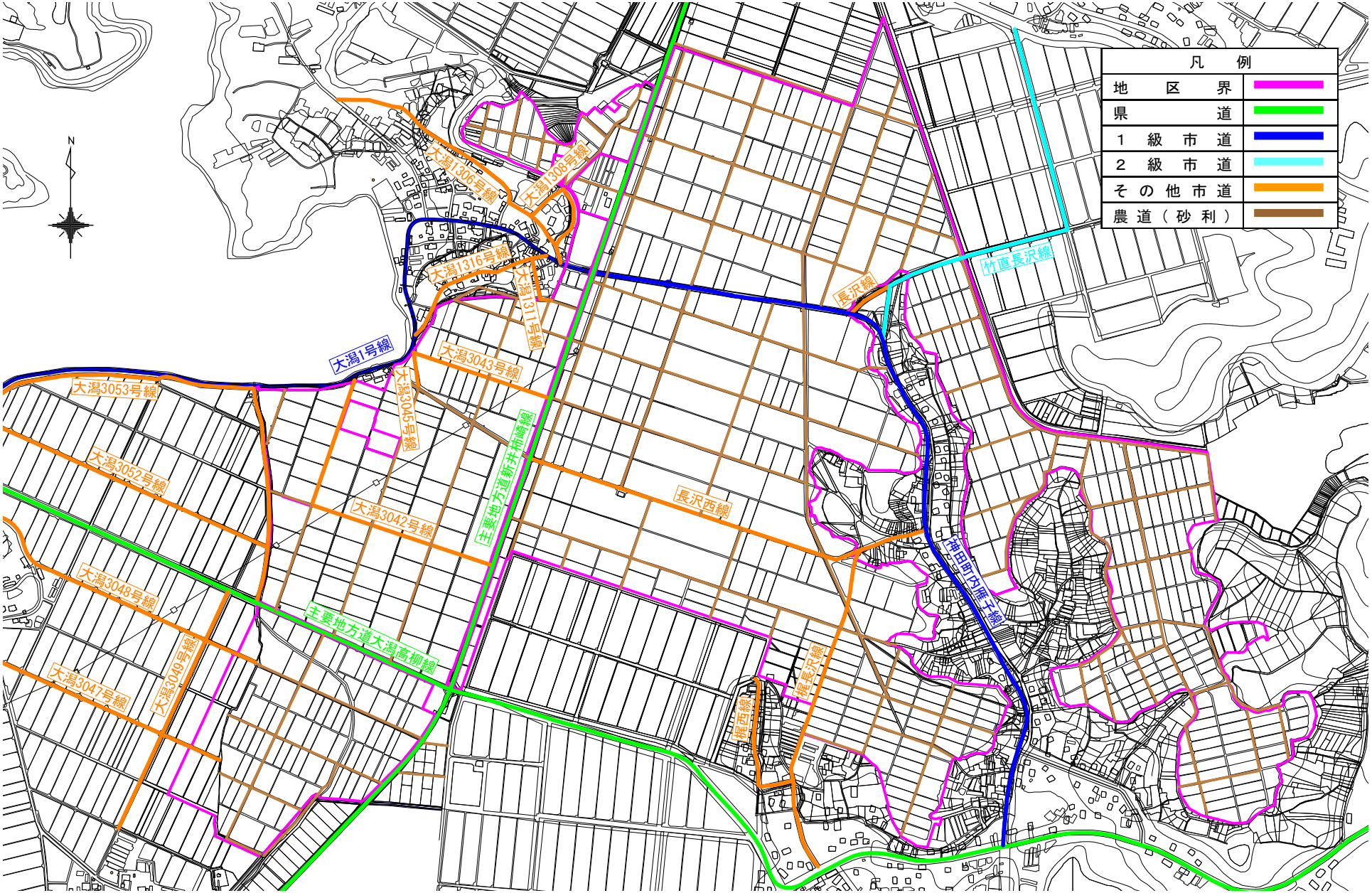
第４節　道路概況

本地区は主要地方道新井柿崎線、主要地方道大潟高柳線に隣接し、農産物の流通等に関する基盤が整っている。
地区内の農道は多数配置されているが、幅員が非常に狭く耕作機械のすれ違いや作物物資の搬入搬出などに支障を来している。

１．　道路概況

現況道路配置図のとおり。

現況道路配置図


凡　例
地　区　界
県　道
1　級　市　道
2　級　市　道
そ の 他 市 道
農 道 （ 砂 利 ）
N
大潟1306号線
大潟1308号線
大潟1316号線
大潟1311号線
大潟1号線
大潟3043号線
大潟3053号線
大潟3045号線
大潟3052号線
大潟3042号線
大潟3048号線
大潟3049号線
大潟3047号線
主要地方道新井柳崎線
主要地方道大潟高柳線
長沢西線
長沢線
竹直長沢線
神田町内浦大線
横長沢線
横西線

２．　主要道路一覧表

（第６表）

番号	線路名	管理区分別	延長（ｋｍ）	幅員（m）		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
30	新井柿崎線	主要地方道	1.7	7.0	5.5	As舗装	否	農道と接続
78	大潟高柳線	主要地方道	0.4	6.5～7.0	5.5	As舗装	否	農道と接続
1	大潟１号線	1級市道	0.2	4.0～7.5	3.5～6.5	As舗装	否	現況利用
117	神田町内雁子線	1級市道	0.4	5.0	4.0	As舗装	否	現況利用
91	竹直長沢線	2級市道	0.1	6.0	5.0	As舗装	否	現況利用
3042	大潟3042号線	その他市道	0.6	2.2	1.5	砂利舗装	要	拡幅,一部廃止
3043	大潟3043号線	その他市道	0.3	2.2	1.5	砂利舗装	要	廃止
3045	大潟3045号線	その他市道	0.1	2.2	1.5	砂利舗装	要	廃止
3047	大潟3047号線	その他市道	0.1	2.5	2.0	砂利舗装	要	一部廃止
3048	大潟3048号線	その他市道	0.1	2.5	2.0	砂利舗装	要	一部廃止
118	長沢線	その他市道	0.1	3.0	2.5	As舗装	否	現況利用
119	梶長沢線	その他市道	0.4	2.2	1.5	砂利舗装	要	一部廃止
146	長沢西線	その他市道	0.7	3.0	2.5	As舗装	否	現況利用

※地区内及び近接道路・主要道路のみ

第５節　地域農業の概況

１．　産業別就業人口

（Ｒ２年　国勢調査）（第７表ー１）

項目／市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス水道熱供給業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売業飲食店（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
上越市	94,235	3,939	108	49	112	9,833	17,758	558	4,806	13,583	1,470	1,057	34,843	3,900	2,219	
比率(%)	100.0	4.2	0.1	0.1	0.1	10.4	18.8	0.6	5.1	14.4	1.6	1.1	37.0	4.1	2.4	

２．　経営耕地広狭別経営体数及び耕地の分散状況並びに農業経営体数

（Ｒ２年 農林業センサス）（第７表ー２）

区分／市町村名	経営体数（経営体）	経営耕地広狭別経営体数（経営体）										1経営体当たり平均農用地面積（ha）						耕地の分散状況		農業経営体数（経営体）			備考
		例外規定の適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0 ha以上	田	畑	樹園地	小計	草地	計	一経営体当たり団地数	団地当たり面積（ha）	個人経営体	団体経営体（法人）	団体経営体（非法人）	
上越市	3,111	104	392	701	490	302	311	287	241	140	143	4.15	0.10	0.01	4.26	0.00	4.26	－	－	2,909	171	31	
比率(%)	100.0	3.3	12.6	22.5	15.8	9.7	10.0	9.2	7.8	4.5	4.6	97.4	2.4	0.2	100.0	0.0	100.0	－	－	93.5	5.5	1.0	

３．　動力農機具及び主要家畜頭数

（Ｒ２年 農林業センサス）（第７表ー３）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	耕うん機		トラクター		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量（台）	経営体数（経営体）	数量（台）	経営体数（経営体）	数量（台）	経営体数（経営体）	数量（台）	経営体数（経営体）	数量（頭）	経営体数（経営体）	数量（頭）	経営体数（経営体）	数量（頭）	経営体数（経営体）	数量（100羽）	経営体数（経営体）	
上越市	―	―	―	―	―	―	―	―	152	8	x	13	x	2	3,803	6	
100経営体あたり数量（台・頭・100羽）	―		―		―		―		5		x		x		122		
利用経営体数割合（%）	―		―		―		―		0.3		0.4		0.1		0.2		

※100戸当たり数量=数量/販売農家数×100
※「 - 」は統計項目変更による
※「x」：秘匿

４．　主要作物作付状況

（Ｒ６年 農林水産省作物統計調査）（第７表ー４）

市町村名			上越市		作付率（%）	備考
総耕地面積(ha)			16,300			
総本地面積(ha)			15,060			
作物名 / 区分			作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)		
田	表作	水稲	11,500	536	96	令和６年データで統一
		小麦	3	267	0	
		六条大麦	11	155	0	
		大豆	258	109	2	
		そば	192	22	2	
	裏作	―	-	-	-	
	小　計		11,964		100	
畑	春夏作	―	-	-	-	
	秋冬作	―	-	-	-	
	小　計		-		-	
樹園地	―		-	-	-	
	小　計		-	-	-	
計			11,964		100	
市町村別延べ作付率(%)			100			

５．　農業の動向

（H22～Ｒ２農林業センサス）（第７表ー５）

項目 区分	経　営　体			土　地			主要作物			大 家 畜			動力農機具			地域指定等	備　考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	77	54	耕地	97	90	水稲	100	106	乳用牛	72	38	耕うん機	－	－	農振(指定) 平成22年	A:令和２年
	個人経営体数	77	52	田	97	91	雑穀類	136	114	肉用牛	x	x	トラクター	77	－	特豪(指定) 昭和46年 ※旧吉川区全域	B:平成27年
	団体経営体数 (法人数)	100	89	畑	94	64	豆類	60	37	豚	164	x	コンバイン	74	－	特農(指定) 平成５年 ※旧吉川区の一部	C:平成22年
	団体経営体数 (非法人数)	87	103	樹園地	71	49	野菜類	159	225	採卵鶏	157	172	動力田植機	72	－	過疎(指定) 平成12年 ※旧吉川区全域	
	農業従事者数	76	103	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
変化の理由	農業情勢の変化			農業情勢の変化			農業政策の変化 食生活の変化			食生活の変化			農業経営形態の変化 機械の大型化				

※「－」は統計項目変更による
※「x」は秘匿

第６節　地域環境の概況

本地区は、新潟県上越市の北部に位置し、高田平野北部の池沼群と東頸城丘陵の西縁の間に広がる農地を受益区域とする水田地帯であり、水稲を中心とした営農が展開されている。日本海にほど近く、海岸付近には、石油・天然ガスの採掘時に湧き出た「鵜の浜温泉」があり、温泉街が形成されている。

地区の用水源でもある朝日池は、砂丘と沖積平野の境のくぼみに湧き水が溜まった池をかんがい用に整備したもので、農林水産省の「ため池百選」にも選ばれている。また、朝日池の一部は「新潟県立大潟水と森公園」に含まれており、ハクガンをはじめとしたマガン、オオヒシクイなど水鳥の飛来地として知られている。

第４章　　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１．　要旨

区画の拡大及び農道の整備を行い大型機械化農業に対応する。用排水路は水管理及び維持管理の負荷軽減を考慮して再編し、暗渠排水施工により耕地の汎用化を行う。

これにより、担い手への農地の集積・集約化から経営規模の拡大を図り、生産コストの低減や園芸作物の導入による所得向上を可能にし、効率的かつ安定的な農業経営を確保する。

２．　事業別面積

（第８表）

事業名 / 土地利用区分 / 事業目的	区画整理					計	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
区画整理	133.7	0.2	－	－	133.9	133.9	
計	133.7	0.2	－	－	133.9	133.9	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．　営農計画の概要

ａ）経営方針　　水稲転作複合　水稲＋露地野菜作経営（えだまめ、ブロッコリー、ばれいしょ）

ｂ）経営組織　　農業生産基盤の整備により水田の高度利用を可能にし、近代的で効率的な農業の確立を目指す。
農地集積・集約化により経営規模の拡大を図り、園芸作物導入による安定的な農業経営と本地域の農業競争力強化を図る。

ｃ）作業体系　　水稲（法人）

耕起・整地	→	移植	→	追肥 防除・除草	→	収穫	→	乾燥・調整
トラクター ロータリー・ハロー	→	動力田植機	→	産業用 マルチローター	→	コンバイン	→	乾燥機 籾摺機

２．　土地利用区分

（第９表ー１）

事業名	土地利用区分 ＼ 区分	耕地						原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計 (ha)					
区画整理	現　況	141.4	0.4	―	―	―	141.8	0.1	―	16.4	158.3	
	計　画	133.7	0.2	―	―	―	133.9	―	―	24.4	158.3	
計	現　況	141.4	0.4	―	―	―	141.8	0.1	―	16.4	158.3	
	計　画	133.7	0.2	―	―	―	133.9	―	―	24.4	158.3	

３．　作付方式

（第９表ー２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	作物名	１年目												２年目												３年目												備考
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区画整理	現況	水田作経営	田	主食用米				○	△	―	―	―	×									同	左											同	左						
				加工用米				○	△	―	―	―	×									同	左											同	左						
				えだまめ					○	―	―	×										同	左											同	左						
			畑	自給野菜																																					
	計画	露地野菜作経営＋水田作経営	田	主食用米				○	△	―	―	―	×									同	左											同	左						
				加工用米				○	△	―	―	―	×									同	左											同	左						
				えだまめ				○	―	○	×	×										同	左											同	左						
				(ブロッコリー)							○	△	―	―	×							同	左											同	左						
				ばれいしょ		○	○	△	―	×	×											同	左											同	左						
			畑	ばれいしょ		○	○	△	―	×	×											同	左											同	左						

※「○：播種　△：定植　×：収穫」

４．　生産計画

（第９表ー３）

事業名	項目／土地利用区分		作物名	作付面積（ha）			作付率（%）		単位面積当たり収量（kg/10a）			生産量（t）			同左生産量増額の内訳（ｔ）		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
区画整理	水田	表作	主食用米	113.5	101.7	△11.8	81.6	77.3	524	540	16	594.7	549.2	△45.5	△61.8	16.3	
			加工用米	9.7	8.2	△1.5	7.0	6.3	524	540	16	50.8	44.3	△6.5	△7.9	1.3	
			えだまめ	0.5	16.7	16.2	0.3	12.7	239	272	33	1.2	45.4	44.2	44.1	0.2	
			ばれいしょ	―	4.7	4.7	―	3.6	―	1,073	―	―	50.4	50.4	50.4	―	
			保全管理	15.0	―	△15.0	10.8	―	―	―	―	―	―	―	―		
		裏作	ブロッコリー	―	4.9	4.9	―	3.7	―	805	―	―	39.4	39.4	39.4	―	
	普通畑	春夏作	自給野菜	0.4	0.2	△0.2	0.3	0.1	―	―	―	―	―	―	―	―	
		秋冬作	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	計			139.1	136.4	△2.7	100.0	103.7									
合計				139.1	136.4	△2.7	100.0	103.7									

５．　労働改善計画

（第９表ー４）

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理	水　田	水稲	84.8	人　力	14.9	6.8	△8.1	湿田・小区画→乾田・大区画
				機械力	9.7	5.3	△4.4	法人→法人
		水稲	9.6	人　力	20.8	6.8	△14.0	湿田・小区画→乾田・大区画
				機械力	13.8	5.3	△8.5	その他担い手→法人
		水稲	15.5	人　力	15.2	6.8	△8.4	湿田・小区画→乾田・大区画
				機械力	8.2	5.3	△2.9	個別農家→法人
		えだまめ	16.7	人　力	13.0	5.5	△7.5	湿田・小区画→乾田・大区画
				機械力	7.7	3.8	△3.9	法人→法人
	計		126.6					
合　計			126.6					

６．　級地別土地利用区分

該当なし

７．　土地配分計画

該当なし

第３節　用水計画

１．　計画基準年

本地区の計画基準年は、既整備済受益地の一部であることから「県営かんがい排水事業　潟川地区」の計画基準年に準じた。
計画基準年：昭和48年（1973年）

２．　計画かんがい方式

（１）かんがい期間

水　稲：5月6日～8月20日（代掻き　5月6日～5月12日）
畑作物：　――――

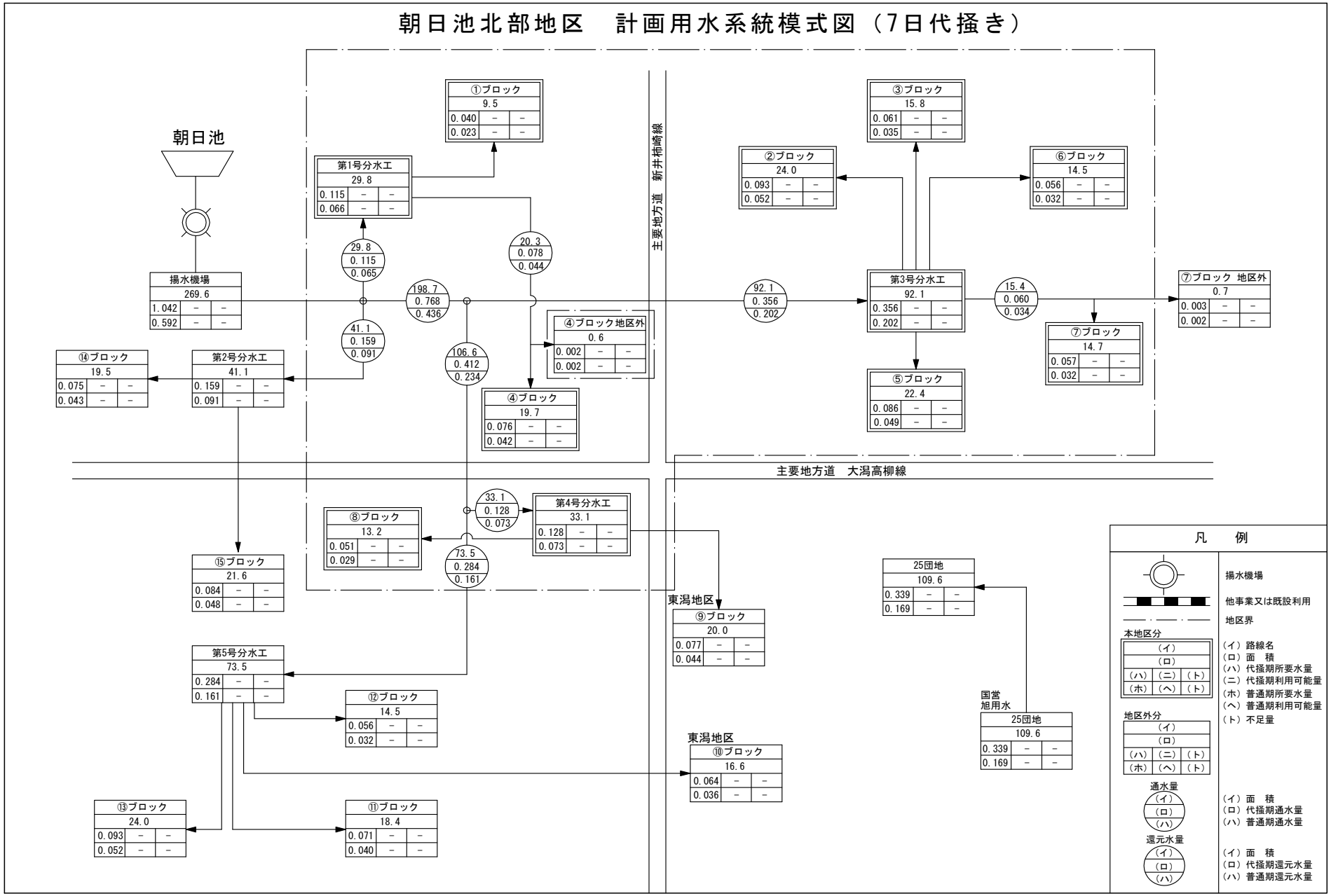
（２）かんがい方式

地区内は、朝日池揚水機場からの加圧パイプライン方式とする。

３．　計画用水系統

計画用水系統模式図のとおり。

計画用水系統模式図


朝日池北部地区　計画用水系統模式図（7日代掻き）
朝日池
揚水機場 269.6 1.042 － － 0.592 － －
198.7 0.768 0.436
29.8 0.115 0.065
41.1 0.159 0.091
106.6 0.412 0.234
20.3 0.078 0.044
第1号分水工 29.8 0.115 － － 0.066 － －
①ブロック 9.5 0.040 － － 0.023 － －
④ブロック 19.7 0.076 － － 0.042 － －
④ブロック地区外 0.6 0.002 － － 0.002 － －
92.1 0.356 0.202
第3号分水工 92.1 0.356 － － 0.202 － －
②ブロック 24.0 0.093 － － 0.052 － －
③ブロック 15.8 0.061 － － 0.035 － －
⑤ブロック 22.4 0.086 － － 0.049 － －
⑥ブロック 14.5 0.056 － － 0.032 － －
15.4 0.060 0.034
⑦ブロック 14.7 0.057 － － 0.032 － －
⑦ブロック 地区外 0.7 0.003 － － 0.002 － －
主要地方道　新井柿崎線
主要地方道　大潟高柳線
⑭ブロック 19.5 0.075 － － 0.043 － －
第2号分水工 41.1 0.159 － － 0.091 － －
⑧ブロック 13.2 0.051 － － 0.029 － －
33.1 0.128 0.073
第4号分水工 33.1 0.128 － － 0.073 － －
73.5 0.284 0.161
⑮ブロック 21.6 0.084 － － 0.048 － －
第5号分水工 73.5 0.284 － － 0.161 － －
⑫ブロック 14.5 0.056 － － 0.032 － －
⑬ブロック 24.0 0.093 － － 0.052 － －
⑪ブロック 18.4 0.071 － － 0.040 － －
東潟地区
⑨ブロック 20.0 0.077 － － 0.044 － －
東潟地区
⑩ブロック 16.6 0.064 － － 0.036 － －
25団地 109.6 0.339 － － 0.169 － －
国営 旭用水
25団地 109.6 0.339 － － 0.169 － －
凡　例
揚水機場
他事業又は既設利用
地区界
本地区分
（イ）
（ロ）
（ハ）（ニ）（ト）
（ホ）（ヘ）（ト）
地区外分
（イ）
（ロ）
（ハ）（ニ）（ト）
（ホ）（ヘ）（ト）
通水量
（イ）
（ロ）
（ハ）
還元水量
（イ）
（ロ）
（ハ）
（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量
（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

4．　計画用水量

（1）かんがい用水　　（第１０表ー１－１）

項目 / 系統名	種別	面積（ha） 事業名 区画整理	計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量（mm）	代かき期 計画代かき単位用水量（mm）	面積（ha）	水田畑利用 一日当たり計画平均かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	その他 計画平均単位用水量（mm/日）	面積（ha）	消費水量（m³/s）	損失率（%）	粗用水量 平均（m³/s）	最大（m³/s）	備考
朝日池	農業用水	133.7	133.7	(17.0) 14.0	150.0	133.7	―	―	―	―	―	―	―	―	(0.465) 0.264	10	―	(0.517) 0.293	( )内は代掻き期
計		133.7	133.7			133.7	―	―	―	―	―	―	―	―	(0.465) 0.264		―	(0.517) 0.293	〃

（2）営農飲雑用水

該当なし

5．　水源計画

（1）水利用計画　　（第１０表ー２）

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量 水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	不足水量 純不足水量	全不足水量	水源依存量 水源名	水量	水源工種	備考
		a（千m³）	b（千m³）	c=a−b（千m³）	$d=\frac{c}{(1-\alpha)}$（千m³）		e（千m³）	f（千m³）	g=c−f（千m³）	h=d−e（千m³）		（千m³）		損失率：α
区画整理	水田かんがい	2,161	―	2,161	2,401	朝日池	2,537	2,537	―	―	―	―	―	10%
区画整理	計	2,161	―	2,161	2,401		2,537	2,537	―	―		―		―

（２）用水対策

（ア）貯水池

該当なし

（イ）井堰及び自然取入口

該当なし

（ウ）揚水機

該当なし

（エ）用水路

（第１０表ー６）

項目 / 名称	かんがい面積(ha) 事業名 区画整理	計	最大通水量 (㎥/s)	延長 (km)	構造	備考
小用水路	133.7	133.7	1.070	23.6	VUφ125～300mm	
計	133.7	133.7				

（オ）その他の水源施設

該当なし

（３）水温水質

該当なし

第４節　排水計画

１．　計画基準雨量

観測所名：大潟　1978年(昭和53年)～2022年(令和4年)
水文資料：新潟県農地部(令和５年度県営調査計画地区における降雨強度算定結果について［通知］R5.9)
1/ 2確率年　82.0 mm/day
1/10確率年 129.0 mm/day

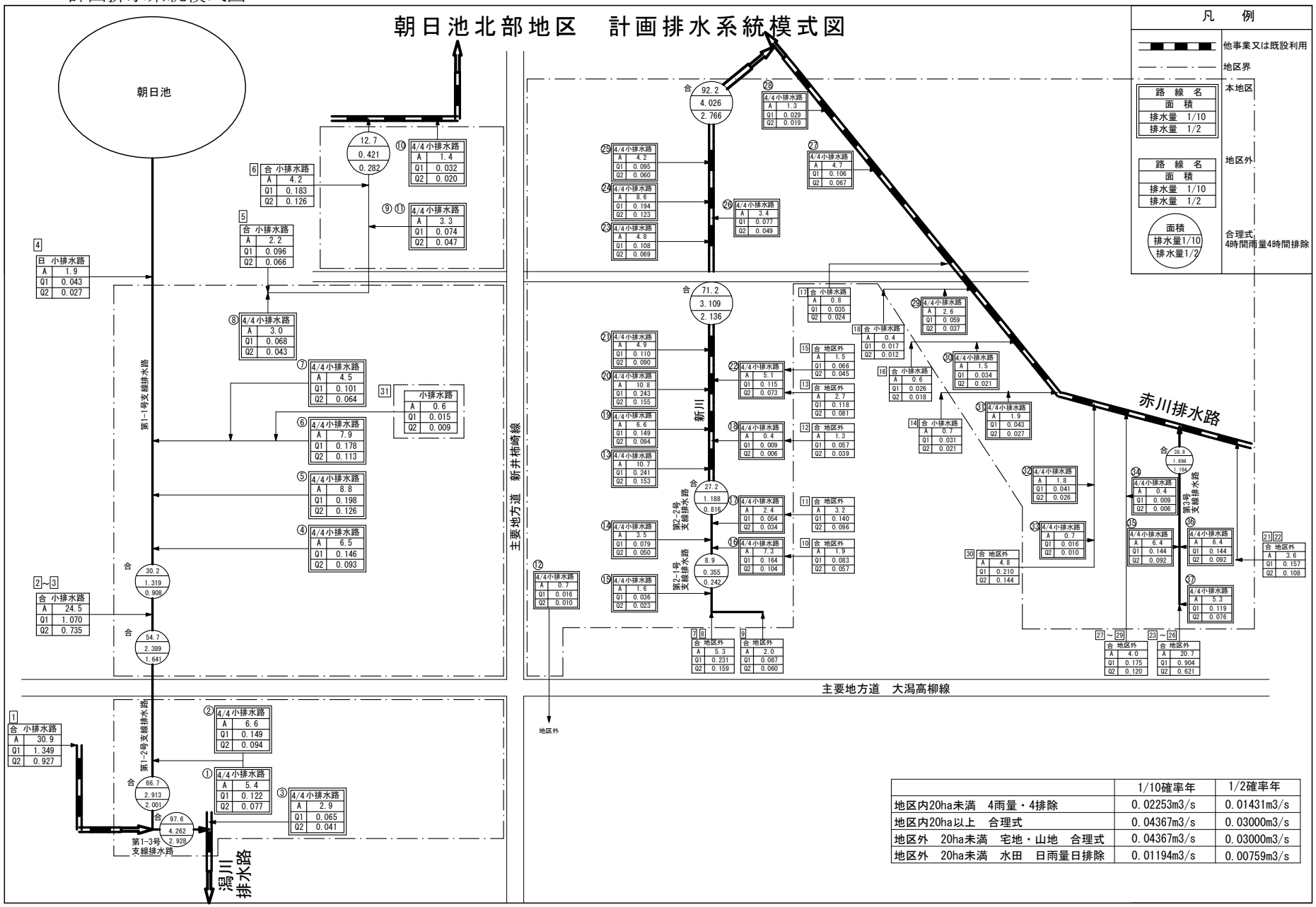
２．　計画排水方式

本地区の排水は、地区内外の小排水路及び支線排水路を経て潟川排水路及び赤川排水路へ自然排水される。

３．　計画排水系統

計画排水系統模式図のとおり。

計画排水系統模式図



	1/10確率年	1/2確率年
地区内20ha未満　4雨量・4排除	0.02253m3/s	0.01431m3/s
地区内20ha以上　合理式	0.04367m3/s	0.03000m3/s
地区外　20ha未満　宅地・山地　合理式	0.04367m3/s	0.03000m3/s
地区外　20ha未満　水田　日雨量日排除	0.01194m3/s	0.00759m3/s

４．　計画排水量

（第１１表ー１）

項目 / 排水系統名	受益面積(ha) 事業名 区画整理	受益面積(ha) 事業名 計	流域面積(km²) 山地	流域面積(km²) 平地	基準雨量(mm)	降雨による直接単位流出量(m³/s/km²) 山地	降雨による直接単位流出量(m³/s/km²) 平地	基底流出量(m³/s/km²) 山地	基底流出量(m³/s/km²) 平地	全排水量(m³/s) 山地	全排水量(m³/s) 平地 自然排水	全排水量(m³/s) 平地 機械排水	単位排出量(m³/s/km²) 山地	単位排出量(m³/s/km²) 平地	備考
支線排水路	34.3	34.3	0.579	0.397	39.3	4.367	4.367	－	－	2.528	1.734	－	4.367	4.367	潟川排水路
小排水路	2.4	2.4	－	0.029	81.1	－	2.253	－	－	－	0.065	－	－	2.253	潟川排水路
支線排水路	64.7	64.7	0.179	0.743	39.3	4.367	4.367	－	－	0.782	3.245	－	4.367	4.367	赤川排水路
小排水路	26.3	26.3	0.356	0.330	39.3 81.1	4.367	2.253	－	－	1.555	1.098	－	4.367	2.253	赤川排水路
小排水路	5.7	5.7	0.064	0.077	39.3 129.0	4.367	1.194 ～4.367	－	－	0.279	0.174	－	4.367	1.194 ～4.367	既設排水路
小排水路	0.5	0.5	－	0.007	81.1	－	2.253	－	－	－	0.016	－	－	2.253	既設排水路
計	133.9	133.9	1.178	1.583	－	－	－	－	－	5.144	6.332	－	－	－	

基準雨量：上段 合理式、下段 4時間雨量4時間排除または日雨量日排除

５．　排水対策

（１）排水水門

該当なし

（２）排水機

該当なし

（３）排水路　　（第１１表ー４）

項目 名称	流域面積 (k㎡)	受益面積(ha) 事業名 区画整理	計	計画排水量 (㎥/s)	延長 (km)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (㎥/s)	計画洪水位 (m)	備考
支線排水路	0.976	34.3	34.3	4.262	1.1	HF1000×1000mm～HF1000×2000mm	潟川排水路	－	－	
小排水路	0.029	2.4	2.4	0.065	4.5	VUφ200～500mm、BF400mm、HF300×300mm～HF600×600mm	潟川排水路	－	－	
支線排水路	0.922	64.7	64.7	4.027	0.9	HF600×600mm、HF900×900mm	赤川排水路	－	－	
小排水路	0.686	26.3	26.3	2.653	10.9	VUφ200～600mm、HF300×300mm～HF800×800mm	赤川排水路	－	－	
小排水路	0.148	6.2	6.2	0.469	－	－	既設排水路	－	－	
計	2.761	133.9	133.9	11.476	17.4					

（４）その他

該当なし

６．　湛水検討

該当なし

第５節　道路計画

１．　道路及び索道

（１）道路　　（第１２表ー１）

項目 路線名	幅（有効）×延長 (m)　　(km)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路	5.0(4.0)×25.0	砂利舗装　転用土	県道及び市道と接続	
耕作道路	4.0(3.0)×0.6	砂利舗装　転用土	―	

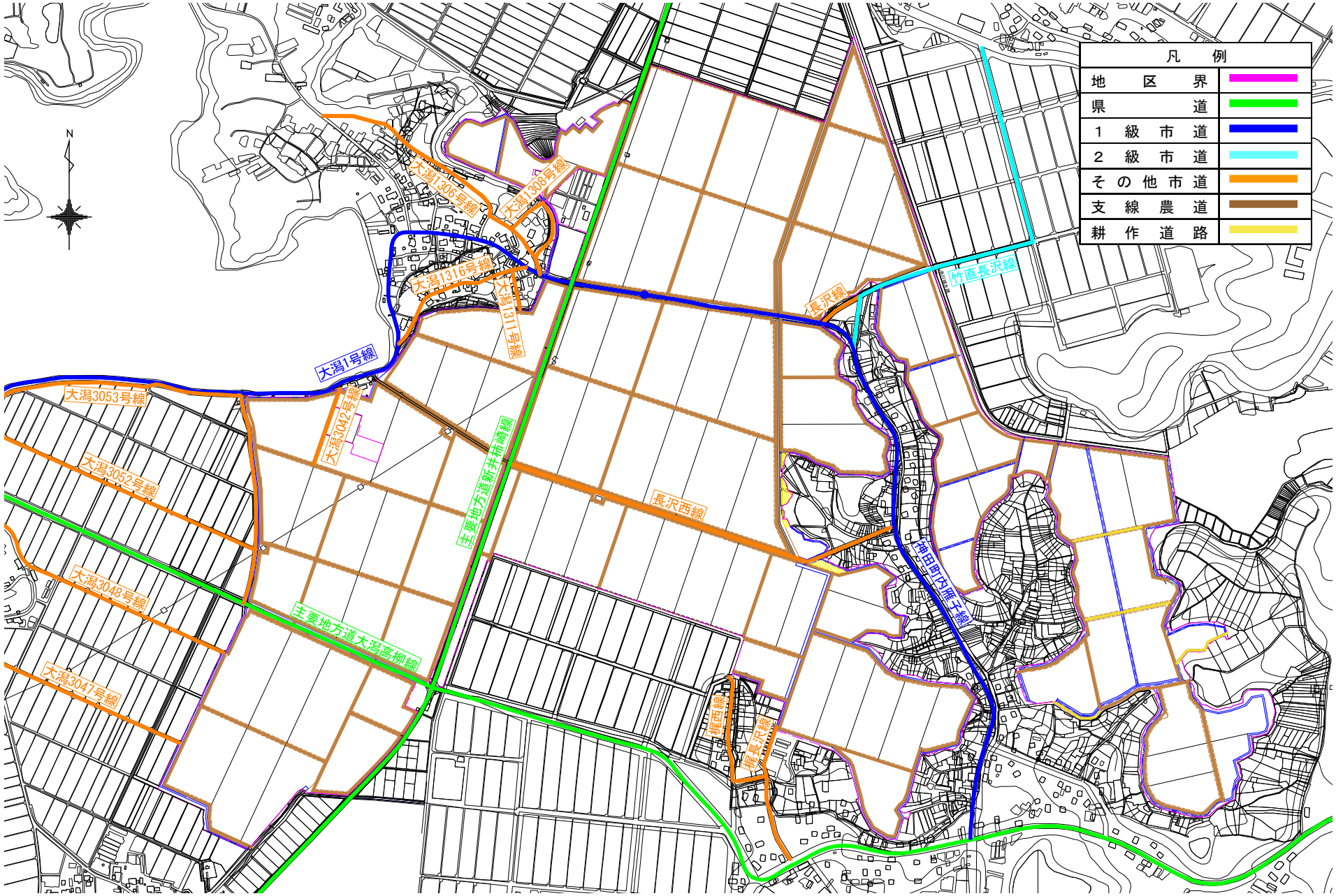
（２）索道

該当なし

２．　路線配置図

計画道路配置図のとおり。

計画道路配置図


凡　例
地　区　界
県　道
1　級　市　道
2　級　市　道
その他市道
支線農道
耕作道路
N
大潟1306号線
大潟1308号線
大潟1316号線
大潟1311号線
大潟1号線
大潟3053号線
大潟3042号線
大潟3052号線
大潟3048号線
大潟3047号線
主要地方道新井柿崎線
主要地方道大潟高柳線
長沢西線
長沢線
竹直長沢線
福田町汐崎王線
堀田線
堀田長沢線

第６節　農用地造成計画

該当なし

第７節　洪水調節計画

該当なし

第８節　干拓計画

該当なし

第９節　農用地整備計画

１．　区画整理

（１）区画の形状　　（第１６表ー１）

長辺×短辺 （m）	区画面積 （ha）	全体面積 （ha）	割合 （%）	田面差 （m）	備考
210×90	1.0以上	114.2	85.3	0～0.5	
120×60	0.3～1.0	19.0	14.2	0～0.5	
端歩田	0.3未満	0.5	0.4	0～0.5	
整形	―	0.2	0.1	―	畑
計		133.9			

（２）表土扱い　　（第１６表ー２）

面積 （ha）	表土扱い要否の理由	扱い深 （cm）	土量 （m^3）	備考
133.7	要：土壌調査の結果及び基盤切盛を行うため	15	200,550	

（３）末端道水路配置図

該当なし

２．　暗渠排水

（１）暗渠排水　　（第１６表ー３ー１）

項目 区分	面積（ha） 事業名 区画整理	計	土壌統（区）名	基準雨量 （mm/日）	単位排水量 （ﾘｯﾄﾙ/s/ha）	計画後の地下水位（m）	集水渠出口以下の排水方式	備考
本暗渠	13.1	13.1	D30 強グライ土壌 強粘土還元型	50	5.8	0.5	自然排水	
本暗渠	120.6	120.6	D31 強グライ土壌 強粘土斑鉄型	50	5.8	0.5	自然排水	
計	133.7	133.7						

（２）心土破砕

該当なし

３．　客土

該当なし

４．　農地保全

該当なし

第10節　老朽ため池改修計画

該当なし

第５章　　主要工事計画

第１節　用水施設

１．貯水池

該当なし

２．頭首工

該当なし

３．揚水機

該当なし

４．用水路

（第１７表ー４）

項目／水路名	かんがい面積（ha）事業名 区画整理	計	通水量（m^3/s）	延長（km） 開きょ	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
用水路	133.7	133.7	1.070	－	23.6	23.6	VUφ125～300mm	－	－	加圧式
計	133.7	133.7		－	23.6	23.6				

５．その他かんがい施設

水管理省力化システム　　１式

第２節　排水施設

１．　排水水門

該当なし

２．　排水機

該当なし

３．　排水路

（第１８表ー３）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名 区画整理	受益面積（ha） 事業名 計	排水量（㎥/s）	延長（km） 開きょ	延長（km） トンネルその他	延長（km） 計	構造	勾配	主要構造物	備考
支線排水路	34.3	34.3	4.262	1.1	－	1.1	HF1000×1000mm～HF1000×2000mm	1/400～1/850	－	潟川排水路
小排水路	2.4	2.4	0.065	2.3	2.2	4.5	VUφ200～500mm、BF400mm、HF300×300mm～HF600×600mm	1/400～1/850	－	潟川排水路
支線排水路	64.7	64.7	4.027	0.9	－	0.9	HF600×600mm、HF900×900mm	1/400～1/850	－	赤川排水路
小排水路	26.3	26.3	2.653	6.8	4.1	10.9	VUφ200～600mm、HF300×300mm～HF800×800mm	1/400～1/850	－	赤川排水路
小排水路	6.2	6.2	0.469	－	－	－	－	－	－	既設排水路
計	133.9	133.9	11.476	11.1	6.3	17.4	－	－	－	－

４．　その他排水施設

該当なし

第３節　道路及び索道

１．　道路

（１）道路の総括表　　（第１９表ー１）

項目／区分	路線名	幅（有効）(m)×延長(km)	構造	付帯構造物			最急勾配(%)	同左の延長(m)	最小曲線半径(m)	備考
				名称	構造	数量(箇所)				
農道	支線道路	5.0(4.0)×25.0	砂利舗装転用土	取付道路	As舗装	31	－	－	－	
農道	耕作道路	4.0(3.0)×0.6	砂利舗装転用土	－	－	－	－	－	－	
計	－	25.6	－	－	－	31	－	－	－	

（２）道路主要構造物

該当なし

２．　索道

該当なし

第４節　農用地造成

該当なし

第５節　洪水調節施設

該当なし

第６節　干拓施設

該当なし

第７節　農用地整備施設

１．　区画整理

（１）区画整理　　（第２３表ー１）

工区名	面積(ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(㎥)	面積(ha)	土量(㎥)	
田	133.7	210m×90m 190a	―	133.7	200,550	表土扱い深15cm
畑	0.2	整形	―	―	―	

（２）末端用水路等　　（第２３表ー２）

項目 区分	数量	規模	構造	備考
小用水路	23.6 km	VUφ125～300mm	硬質ポリ塩化ビニル管	管用水路
計	23.6 km	―	―	

（３）末端排水路等　　（第２３表ー３）

項目 区分	数量	規模	構造	備考
支線排水路	2.0 km	HF600×600mm ～HF1000×2000mm	排水フリューム	
管排水路	6.3 km	VUφ200～600mm	硬質ポリ塩化ビニル管	
小排水路	8.4 km	HF300×300mm ～HF800×800mm	排水フリューム	
付帯水路	0.7 km	BF400mm	ベンチフリューム	
計	17.4 km	―	―	

２．　暗渠排水

（１）暗渠排水

（第２３表ー４－１）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	区画整理	計	勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	名称	構造	数量（m/ha）	
本暗渠	133.7	133.7	1/500～1/1000	塩ビ管	75～125	44	1/500～1/1000	素焼陶管	75	0.6以上	7.5	1,089	自然排水	管水路又は排水フリューム	177	
計	133.7	133.7	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	

（２）心土破砕

該当なし

３．　客土

該当なし

４．　除礫

該当なし

５．　農地保全

該当なし

第８節　老朽ため池改修施設

該当なし

第６章　附帯工事計画

該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

１．　工期

着手予定　　令和８年度

完了予定　　令和16年度

第８章　環境との調和への配慮

本地区は、大潟区農村環境計画では「農業生産エリア」、吉川区農村環境計画では「近代農業推進エリア」に位置づけられ、効率的で持続可能な農業生産と、環境との調和を考慮した整備事業が求められる区域である。

調査の結果、地区内の排水路には多様な生物が確認されており、豊かな自然環境が窺える。しかし、本事業によりこれらの生息環境の変化が懸念されるため、生態系に配慮した対策が必要である。

そのため、集落に近い開水路計画区域の排水路を環境保全水路として計画し、生物が生息するために適した環境を確保するとともに、生態系との調和を図る。

第９章　換地計画の概要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

本事業を行うにあたって、農用地の集団化及び、地域農業の発展に資するよう換地計画を樹立することを踏まえ、経営体育成等促進計画を基に地元地権者との合意形成を図り、利用権設定を換地と一体的に行い望ましい経営体（担い手等）に効率よく利用集積されるよう土地利用調整を行う。

第２節　換地区の設定

１．　換地区の名称、所在、面積　（第２５表ー１）

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
全換地区	新潟県上越市 大潟区内雁子、大潟区内雁子新田、吉川区長沢、吉川区神田町、吉川区梶	158.3

２．　換地区を設定する理由

該当なし

第３節　換地計画樹立の基本方針

１．　従前の土地の地積の基準　（第２５表ー２）

換地区名	地積の基準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記地積とする。ただし、上記の日から３か月以内に、測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接土地所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

２．　用途別予定地積

（単位：ha）（第２５表ー３）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第１条の９（　）書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・必要な施設用地	公共用・公用施設用地	宅地等	計							
全換地区	従前の土地	141.4	0.4	0.1	－	－	－	－	141.9	－	－	－	－	141.9				－						－	－	0.2	16.2	16.4	－	158.3
	換地	133.7	0.2	－	－	－	－	－	133.9	2.4	－	2.4	－	136.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	22.0	22.0	－	158.3
合計	従前の土地	141.4	0.4	0.1	－	－	－	－	141.9	－	－	－	－	141.9				－						－	－	0.2	16.2	16.4	－	158.3
	換地	133.7	0.2	－	－	－	－	－	133.9	2.4	－	2.4	－	136.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	22.0	22.0	－	158.3

３．　農用地集団化の方針

（第２５表ー４）

換地区名／区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全換地区	◎集落別集団化 集落毎の出入作を解消し、集落単位の共同作業や農地の維持管理が容易となるよう、その権利者の属する集落単位に集団化を図る。 ◎地目別集団化 水田の中に混在する畑は、工事後に残す畑の希望面積を取りまとめ、できるだけ地区界周辺の不整形部分に集団化する。 ◎営農グループ集団化 地域の担い手（農業生産法人１法人）の経営農用地の面的な集積を積極的に推進する。	各人の従前の土地が最も密集した位置を基礎とした上、育成すべき経営体の営農効率が向上するような合理的な土地利用計画を策定した後に換地選定を行い集団化を図る。	一戸当たりの団地数は、地目別集団化の範囲内において、地目ごとに概ね１～２団地を目標とする。	固定畦畔とする。

４．　非農用地の換地方法

該当なし

第４節　土地の評価及び清算の方法

１．　評価の方法

標準地比準評価方式による。

２．　清算の方法

増価額比例地積清算方式による。

第５節　換地計画樹立の年度計画

（第２５表ー６）

区分 換地区名	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
全換地区	令和10～14年度	令和16年度	令和16年度	

第６節　換地処分の時期に関する特則

換地計画の対象となる区域内の区画形状の変更に係る工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の２第10項で準用する同法第54条第２項本文の規定にかかわらず、換地処分ができるものとする。

第10章　事業費の総額及び内訳

（第２６表）

区分＼事業名	区画整理（千円）	備考
主要工事	4,288,200	令和７年度単価 内工事雑費　71,470 千円 内地方事務費　132,730 千円
附帯工事	－	
計	4,288,200	

（単位：千円）

事業名等	区分	工事費				工事雑費				地方事務費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
区画整理	負担率	62.5%	27.5%	10.0%	－	－	100.0%	－	－	－	100.0%	－	－
	負担金額	2,552,500	1,123,100	408,400	－	－	71,470	－	－	－	132,730	－	－
合計	負担率	62.5%	27.5%	10.0%	－	－	100.0%	－	－	－	100.0%	－	－
	負担金額	2,552,500	1,123,100	408,400	－	－	71,470	－	－	－	132,730	－	－

第11章　効用

（第２７表）

事業名	区分＼項目	年総効果（便益）額（千円）	年総増加農業所得額（千円）	備考
区画整理	作物生産効果	99,220	15,586	総費用（現在価値化）＝　4,288,378　千円 総便益（現在価値化）＝　4,695,411　千円 総費用総便益比＝$\frac{4,695,411}{4,288,378}$＝ 1.09 増加所得償還率＝$\frac{－}{165,808}$×100 ＝　－
	営農経費節減効果	145,437	151,293	
	維持管理費節減効果	△7,278	△1,071	
	耕作放棄防止効果	12	－	
	農業労働環境改善効果	2,678	－	
	景観・環境保全効果	879	－	
	国産農産物安定供給効果	16,254	－	
	計	257,202	165,808	
合計	作物生産効果	99,220	15,586	
	営農経費節減効果	145,437	151,293	
	維持管理費節減効果	△7,278	△1,071	
	耕作放棄防止効果	12	－	
	農業労働環境改善効果	2,678	－	
	景観・環境保全効果	879	－	
	国産農産物安定供給効果	16,254	－	
	計	257,202	165,808	令和７年度単価

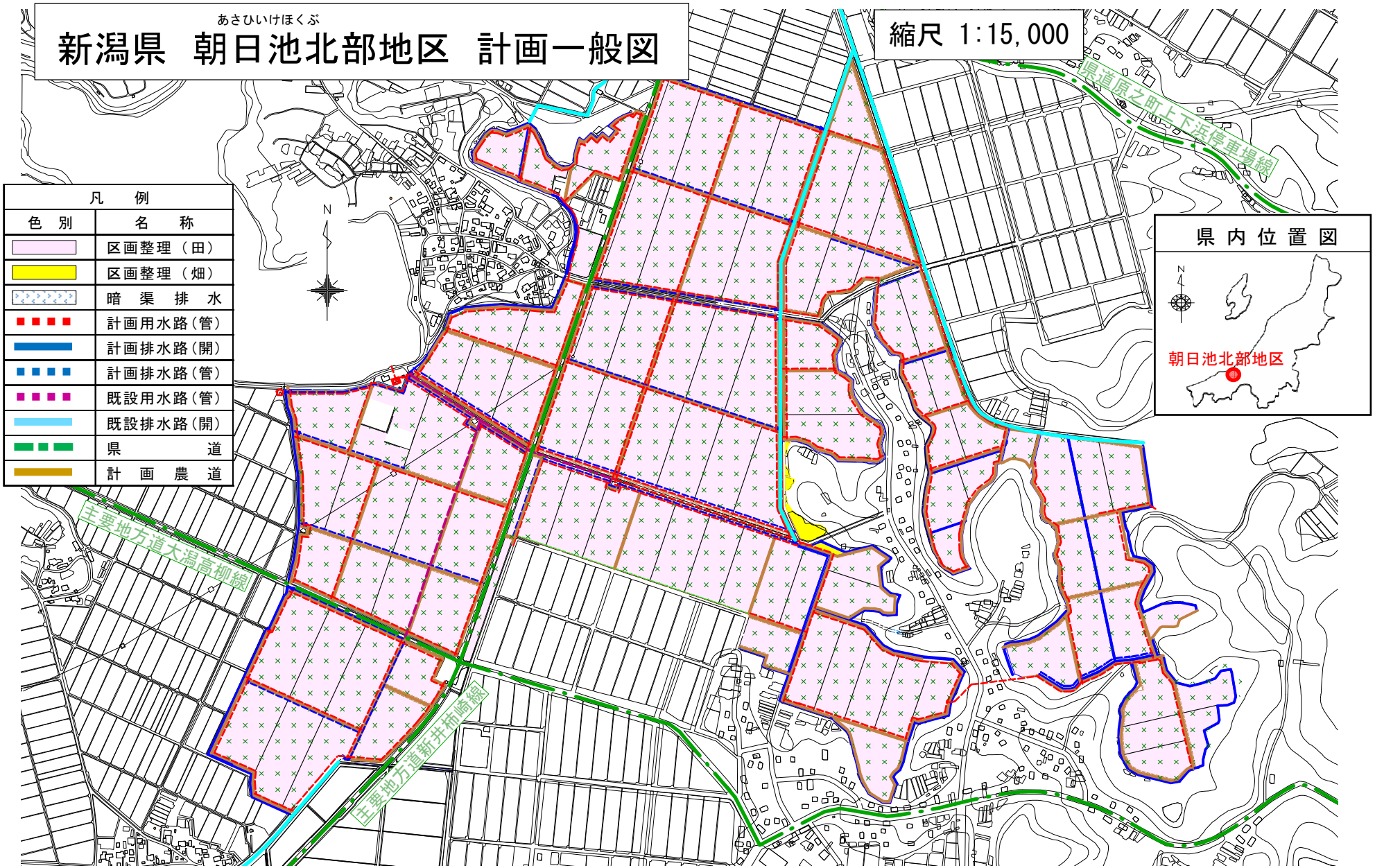
第12章　関連する事業

該当なし

第13章　現況・計画図面

別紙　計画一般図のとおり。

令和８年度 新規採択希望（着工地区） 区画整理（経営体育成基盤整備「農地中間管理機構関連型」）事業

新潟県 朝日池北部地区（あさひいけほくぶ） 計画一般図

縮尺 1:15,000